

世界十六カ国遺児共同宣言

全世界の遺児の生存と幸福のために

二〇〇五年八月十四日

第六回あしなが夏季国際交流会 世界宣言起草委員会 代表 渡辺文隆

(病氣遺児・あしなが育英会大学奨学生・京都大学四年)

あしなが育英会 会長 玉井義臣

殿

あしなが育英会では、この四十年間、あらゆる原因で親を亡くした子ども(以下「遺児」という。外国では「孤児」と呼ばれている)たちの進学を支援し、深く傷ついた心を癒す心のケアを行ってきた。一九九五年、阪神淡路大震で約六千人が亡くなり、五百七十三人の震災遺児が生まれ、世界からの多くの支援を得て、癒しの家「虹の家(レインボーハウス)」を建設、心のケア活動を本格化した。幼い子らは徐々に癒され、やがて高校生になり、自分たちが受けた「恩」に対する「恩返し」として、海外の維持を神戸に招いて連帯と共生を進めることを提案し、二〇〇〇年から五回十七カ国百五十人と交流した。

神戸の震災十年を記念して今年一月に十カ国、三十二人が集まったとき、①インド洋津波遺児を招いて②神戸だけでなく全日本の遺児との癒しのつどいコラボレーションを行うことを世界子ども会議で提案がなされた。このたびの「津波遺児ら百人と日本の遺児千人が心の傷を癒し合うつどい」はそれが実現したものであり、企画はおおむね成功した。

あしなが育英会では①この企画を三年間継続するとともに、②世界の遺児一億数千万人が抱える問題を明らかにし、解決への提案を示した。

エイズや他の病気、テロや戦争、津波や地震などの災害、自殺などによって生まれた遺児の数は、サハラ以南アフリカ、アジア、ラテンアメリカとカリブ地域の九十三カ国だけでも、一億四千三百万人と推計されている(二〇〇四年、UNICEFなど)。死別による精神的な傷だけでなく、極度の貧困、教育機関からのドロップアウト、薬物、人身売買、売春、虐待、差別、少年兵の問題などが今この瞬間も仲間たちを苦しめている。また、貧困などの問題は、世代を超えて再生産される。

私たちは、遺児たちが国家、人種、宗教、民族などの違いを超えて連帯できると信じる。また私たちは、先進国の遺児と途上国の遺児、支援を受けている遺児とそうでない遺児の間に存在する格差を強く認識する。そして、より厳しい状況にいる遺児のために、以下のような活動の実現を切に願う。

一、各国にASHINAGAを

私たちは、世界各国で以下のような自助活動が行われることを願う。

- ①その国の遺児のための心のケアと奨学事業
 - ②他の国へのノウハウスキルの伝達活動
 - ③近隣の国における災害時の、被災地に向いての心のケア活動
- 私たちは、同じ立場の遺児と体験を共有して励ましあい、刺激しあつて視野を広げ、生きる意欲を生み出し、助けあつて生き延びるために、各国にASHINAGAのような自助活動が広がることを望む。

二、世界に「ASHINAGAさん」を

遺児たちは、親の代わりに愛情を注ぎ支援してくれる人を求めている。遺児のひとりひとりに対して、愛情と支援を与えてくださる「ASHINAGAさん」が世界中から現れることを願う。

三、世界規模の遺児の連帯ネットワーク「国際遺児会議」を

遺児の抱える問題は、子どもである遺児の力だけでは解決できない。しかし、世界に一億四千万人以上いる遺児が連帯・団結することによって、世界に影響を与えられると考える。そのために、国連加盟国百九十一カ国による世界規模の遺児の連帯ネットワーク「国際遺児会議」の必要性を訴える。同会議は以下の役割を担う。

- ① 遺児のためのネットワーク構築(ウェブサイト、メール、文通、共通の歌、映画制作、スポーツなど)
- ② 遺児の声を世界に届ける役割
- ③ 遺児がこれ以上生まれない安全な世界の実現(法律や政策の提言など)

私たち十六カ国の遺児は、支援への恩返しとして、暖かい心、広い視野、行動力、国際性を兼ね備え、広く人類社会に貢献できる大人へと成長するよう努力することを誓う。また、新たに支援を受けた後輩の遺児たちに、恩返しを精神を伝えていくことを誓う。

私たちは、世界一億人以上の遺児たちが成長し、自分の受け取った支援と愛情を社会に還元することによって、人類社会全体に貢献できるということを、強く信じる。

二〇〇五年八月十四日 法政大学市ヶ谷校舎 ボアソナードタワー二十六階スカイホール 「世界子ども会議」にて採択

世界宣言起草委員会

渡辺文隆(病氣遺児・あしなが育英会大学奨学生代表・京都大学四年) 上村詩恵(あしなが育英会大学奨学生代表・東京学芸大学一年)

小島汀(震災遺児・精道中学校二年)・川口瑛子(震災遺児・直心高等学校三年)・小野澤恵里(あしなが育英会高校奨学生代表・三条高等学校三年)

カイラ・スクマ・ジュニナ(インドネシア・十三歳) ロクゲ・テイハリ・カウシャルヤ(スリランカ・十三歳) ラタナ・ダムシリ(タイ・十六歳) シファーズ・ウェーフィル(モル

デイク・十三歳) ハヤゼ・ビンティ・バラム(マレーシア・十六歳) 以上津波遺児

ホアン・シエンハオ(台湾・十五歳) デイアナ・バステイダス・バレステロス(コロンビア・十歳) ニティン・ルハール(インド・十七歳) カルメン・マリア・ヴァレラ・ロダス(エルサ

ルバドル・十二歳) バアサン・ヒシャーム(アルジェリア・十二歳) アミール・ミルザイ・ホットカニ(イラン・十五歳) 以上震災遺児

カミラ(アフガニスタン・十歳) ムスリム・ファルハム(イラク・二十一歳) 以上戦争遺児

ジヨアン・ゴメス(ニューヨーク・テロ遺児・十七歳) ルタヤ・ビアリ(ウガンダ・エイズ遺児・十二歳)